

2018年5月15日

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ
(コード番号 8306)

2018年3月期末配当および2019年3月期年間配当予想について

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ（代表執行役社長 ^{ひらの のぶゆき} 平野 信行）は、本日開催の取締役会において、下記のとおり2018年3月31日を基準日とする期末配当を行うことを決議いたしました。なお、本件は、2018年6月28日に開催予定の定時株主総会に付議します。

また、2019年3月期年間配当予想について、下記のとおりとします。

記

1. 2018年3月期末配当

(1) 配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (2018年2月2日公表)	前期実績 (2017年3月期)
基準日	2018年3月31日	同左	2017年3月31日
1株当たり 配当金	10円	9円	9円
配当金の総額	131,934百万円	—	121,160百万円
効力発生日	2018年6月29日	—	2017年6月30日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

(2) 理由

当社は、資本の健全性や成長のための投資との最適バランスを検討した上で、配当を基本として株主還元の充実に努める方針としております。

配当につきましては、利益成長を通じた1株当たり配当金の安定的・持続的な増加を基本方針とし、配当性向は40%をめざしてまいります。自己株式の取得につきましては、資本効率の向上に資する株主還元策として、機動的に実施してまいります。なお、保有する自己株式の総数の上限は、発行済株式総数の5%程度を目安とし、それを超える数の株式は、原則として消却いたします。

本方針にのっとり、期末配当を1株当たり10円とすることとしました。これにより、中間配当9円を含めた当期の年間配当は、前期に比べ1円増配の1株当たり19円となります。

2. 2019年3月期年間配当予想

基準日	1株当たり配当金（円）		
	中間期末	期末	年間
配当予想 (2019年3月期)	10円	10円	20円

(参考)

基準日	1株当たり配当金（円）		
	中間期末	期末	年間
当期実績 (2018年3月期)	9円	10円*	19円*
前期実績 (2017年3月期)	9円	9円	18円

*2018年3月期末配当（10円）については、2018年6月28日に開催予定の定時株主総会において承認されることを前提としています。

以上

本資料には、当社または当社グループの業績、財政状態に関する予想、見通し等の将来に関する記述が含まれています。かかる記述は、現時点における予測、認識、評価等を基礎として記述されています。また、将来の予想、見通し等を作成するためには、一定の前提（仮定）を使用しています。これらの記述ないし前提（仮定）は、その性質上、将来そのとおりに実現するという保証はなく、客観的には不正確であったり、実際の結果と大きく乖離したりする可能性があります。そのような事態の原因となりうる不確実性やリスク要因は多数あります。その内、現時点において想定し得る主な事項については、最新の決算短信、有価証券報告書、ディスクロージャー誌、Annual Report をはじめとした当社の公表済の各種資料をご参照下さい。